

私たちは自然を愛し人を愛し街を愛します

JA宮崎中央

めぐみ

Nokyo Dayori JA Megumi

5

2019 May

No.267



新入職員紹介

経済部GW営業体制

退職者ごあいさつ

ほっとピックス

はびすのわ

・田野支店・八代支店

頑張る人には福が来る

がいばり屋
NO.15

茶生産者 田中 宏史さん

5月5日
こどもの日

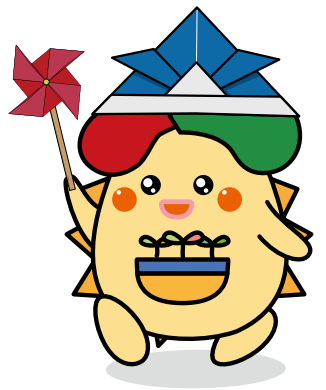


デザイン・製作 ● 吉野花壇(代表)吉野恒男



サクラやスバラキスで少し高さをつけて挿していきました。ちなみにスバラキスはアヤメ科のお花です☆

花ごよみ
～ 皁月 ～



*花材(右から)

- ・ナデシコ
- ・カスミソウ
- ・スバラキス
- ・サクラ(葉)

●目次

- 4 新人職員ご紹介
- 6 ほっとピックス
- 9 はびすのわ
- 10 年金友の会からのお知らせ
- 11 経済部GW案内
- 14 食フェスタのご案内
- 16 JAすまいる通信
- 18 退職者よりご挨拶

頑張る人には福が来る
がらぼり屋
NO.15



田中 宏史さん

田野町鷺瀬原では新茶の季節となり綺麗な緑色の茶畑が広がっています。そこでお茶を生産する田中宏史さん(36)。JA宮崎中央茶部会に所属しており、本格的に茶業を継いでから10か月。初めての出荷となる今年、美味しいお茶を消費者の方に提供したいと力がかかります。宏史さんは「さえみどり」という品種のお茶を広さ380aの茶畑でご家族とともに生産しています。取材に伺った際は1番茶の収穫前で、4月15日には収穫を迎えます。

茶の生産で大変なことは天候に左右されてしまうことだそうです。天候が悪い時には夜中に見回ったりするそうですが、冷え込みによる霜の影響も出てくるなど、品質は天候との戦いです。また、宏史さんは、お茶のPR活動にも積極的に参加しており、



九州の茶生産者による青年会の活動にも協力しています。そのような活動を通して、宮崎のお茶の魅力を消費者のみならずへ伝えたいと意気込みを話してくれました。宏史さんは「県外のお茶に負けない宮崎茶の良さを部会員らやJAと協力してPRしていきたい。ペットボトルのお茶は手軽だが、急須で煎れる日本古来のお茶の美味しさも知ってほしい。」と話します。そのためにも家族や仲間とともにさらなる高品質な茶葉生産を目指します。みなさんも今年の宮崎産新茶をぜひお楽しみください。